

様式 1 【技術・家庭（家庭分野）・中 1・「私たちの住生活」】①

題材の目標

家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解するとともに、家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。

ICT活用のポイント

考え方の確かな共有による学びの広がりと考えのスピーディーな視覚的共有を意識した授業

事例の概要

【つかむ】

住まいの役割の学習を振り返り
本時の学習課題をつかむ

家族に合わせた住まい方を考えよう

【追究する】

家族に合わせた住まい方について
意見交流する

【まとめる】

交流した意見をもとに自分なりの
考えをまとめ、今後の生活に
生かせるようにする

【事例における I C T 活用の場面①】

- 自分の考えを手書きのワークシートに記入する。
そのワークシートを撮影し、学習支援ソフトを通して提出する。
- 個々の意見を全体で共有しながら、自分の考えと他者の考えを比較したり参考にしたりして、自分の考えに生かす。

【事例における I C T 活用の場面②】

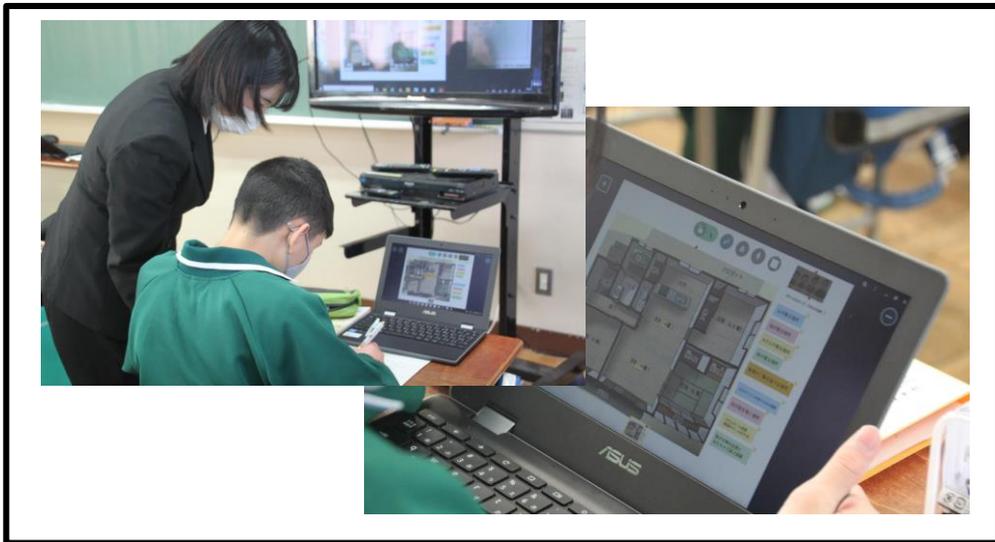
- 自分の考えをまとめ、グループで意見交流をする。
I C T 端末上で前時に自分で考えた間取りのシミュレーション図を使って、グループのメンバーに説明する。
- メンバーは図を見ながら質問をしたり、意見交換し、互いの工夫点を学び合う。
- まとまった班の考えは、学習支援ソフトを通して提出する。

【事例における I C T 活用の場面③】

- 各班で考えた意見を大型提示装置に映し、全体で共有する。

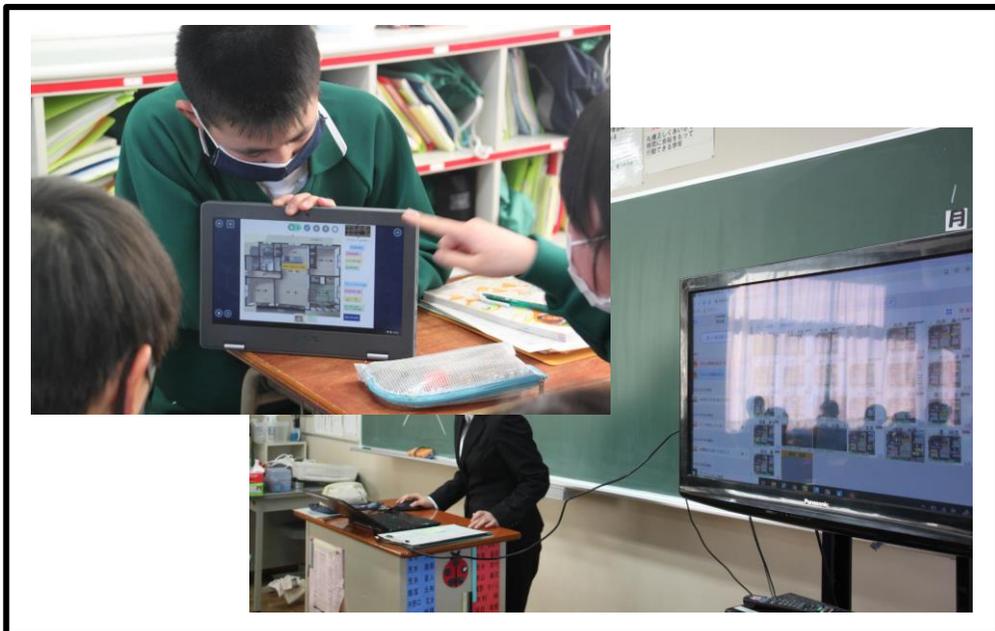
【技術・家庭（家庭分野）・中1・「私たちの住生活」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



- ◆個人で考えをまとめる活動では、前時に作成した間取りのシミュレーション画像を確認しながら、学習を振り返ることができた。
- ◆個々のワークシートを画像として取り込み、提出することで、全体の意見を共有することが可能になり、新たな気づきが得られたり、考えを整理したりできた。

【事例におけるICT活用の場面②③】



- ◆シミュレーション画像を用いることで、視覚的に分かりやすく共有することができ、意見交流が円滑になり、話し合いを深めることができる。また、互いの工夫点を学び合うことで自分の考えを深めることができた。
- ◆シミュレーション画像を用いることで、考察したことを根拠や理由を明確にして説明したり、発表したりすることができた。
- ◆複数の生徒が同じ画面を見ながらそれぞれのアイデアを記入する付箋機能を活用したり他の考えにコメントを付けたりしながら、協働的な学習を促すことができた。
- ◆全体で意見を共有することで、生活には必ずしも正解がないことに気づき、複数の選択肢の中から自分は何をどのように選択するかといった問題に対応できる意思決定能力を高めることができた。